

勤務中に
大規模地震が発生したら...

むやみに移動を開始しないでください!

STOP! 一斉帰宅

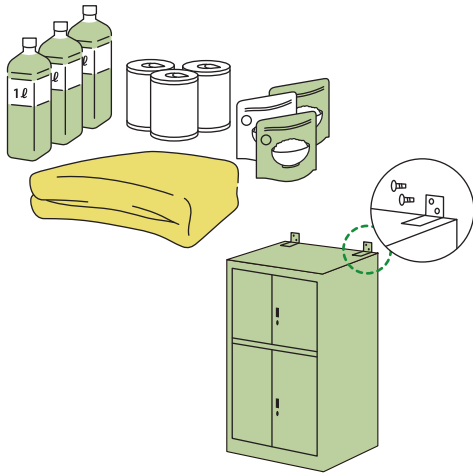


帰宅困難者対策については静岡県のこちらのホームページを御覧ください▶

静岡県 帰宅困難者対策



#1 平時は、水や食料、毛布など滞在環境の確保



従業員・来訪者・施設利用者等が数日間施設内に待機できるように水、食料、毛布、簡易トイレ、トイレットペーパー等の衛生用品、非常用発電機の燃料などの備蓄を進めましょう。

目安は3日分ですが、混乱收拾にそれ以上の日数かかることも想定し、多めの備蓄を検討しましょう。

書庫やロッカーなどを固定するなど、職場の安全確保も忘れずに行いましょう。

#2 発災時は、従業員等を安全な場所に留まらせ、むやみな帰宅を抑制

従業員等の一斉帰宅を抑制

通勤時、就業時、帰宅時等の状況別の行動パターンを職場であらかじめ定めておきましょう。

- 〈例〉
- 自宅に近い場合は自宅で待機
 - 職場に近い場合は敷地・施設内で待機
 - 勤務中や出張等で自宅・職場から離れている場合は周辺の安全な場所で待機



「分散帰宅」で混乱を防止

発災直後の混乱が落ち着き帰宅する際の分散帰宅の方針を設定し、従業員等に周知しましょう。

情報収集

信頼できる情報源から被害状況や交通機関の情報を収集し、デマや流言に振り回されないようにしましょう。

混乱が落ち着いた後に帰宅開始

帰宅経路が通行可能か、公共交通機関が目的地まで運行しているか等、安全に帰宅できるかを確認して、帰宅をはじめましょう。

徒歩帰宅が可能な場合は、徒歩で帰宅してください。

帰宅支援ステーション(コンビニ等)が活用できます。

